

組織風土を改革する

方針管理の進め方

～方針を確実に実行し成果を出すために部課長が果たすべきこと～

とき 2026年 7月 2日(木) (1日コース 10:00～17:00)

ところ 中産連ビル 研修室(名古屋市東区白壁3-12-13)

ご参加
いただきたい方

- 方針管理に取り組む部長、課長の方々
- 方針管理で取り組むべきことをしっかりと理解したい方
- 企業成長や風土改革を狙っている方

本研修の4つのねらい

- ① **ビジョンと日常業務をつなぐ「方針管理の本質」を学ぶ**
企業理念・ビジョンが、現場の行動にどう落とし込まれるべきかを理解します。「なぜ方針管理が必要なのか」「何が成果につながるのか」が明確になります。
- ② **部課長が果たすべき役割と実践的な進め方を学ぶ**
部課長が組織を動かすために必要な視点、現状把握の方法、業務の整理・優先順位づけなど、“現場を動かすリーダー”としての具体的な行動が学べます。
- ③ **問題発見力・課題構築力・問題解決力の強化する**
現場経験を活かしながら、ムダを見抜き、課題を構造化し、解決策を導くための思考プロセスを習得します。模擬演習を通じて、実務に直結する問題解決スキルが身につきます。
- ④ **自部署の業務をビジョンと整合させる「方針管理の実践力」を獲得する**
自部署の業務整理、価値の明確化、前後工程の理解、上位方針との整合など、“方針管理のステップ”をワークで体験し、翌日から使える実践力を獲得します。

プログラム

1. 製造業革新の考え方

- (1) 儲かる会社運営の型
- (2) 企業理念からつながる企業活動の全体像とは
- (3) 事例に学ぶ原点思想と重点教育

2. 事例から学ぶ方針管理

- (1) 方針について具体例を通じて理解する
- (2) 繋げる仕事の流儀とは
- (3) ムダのない仕事を行うために問題解決を進めることが必要不可欠

3. 必要となる「方針の実行と問題解決能力」

- (1) 日常的に現状把握(部課長による)を行う重要性
- (2) 問題発見力と課題構築力のために必要な現場経験の重要性
- (3) 現場経験・実践からの問題解決マネジメントの必要性

- (4) ひとり一人がイキイキと仕事ができる環境整備のすすめ
- (5) 問題解決の実践 ～模擬演習で問題解決を体験する～

4. 方針管理の実践

～模擬演習で取り組むべきステップを体感する～

- (1) 自部署の業務を整理する
- (2) 業務の目的や価値とは
- (3) 前後工程でやり取りされる情報とは
- (4) 自部署に対する期待とは
- (5) 重要度のランク(優先業務)決めとは
- (6) 取組みについて上位方針との整合性とは
- (7) 自社のビジョンや理念とは
- (8) 自部署の優先業務(重要な業務)を理念・ビジョン・上位方針で説明する
- (9) 発表・フィードバック

組織風土を改革する方針管理の進め方

企業の成長には先を見たビジョンの構築と組織毎の施策立案が必要です。専門化し過ぎた組織が多いため社内横断的な視点で業務を観察することが大切です。本セミナーでは、社内がまとまって行動できるビジョン構築と方針管理までの手法の習得をねらいとします。企業成長していくためには、方針管理が必要で中長期的なビジョンを実現するために有効な仕組みであり、組織全体の方向性を統一し成果の最大化につながります。

◆方針が実行されている企業は、企業ビジョンが実現し企業成長に繋がります。

- ☑ 必要だと考え方針管理制度があるが上手に取り組めていない。
- ☑ 方針管理シートを埋めるだけで満足している。実践まで踏み込んで取り組めるようになってほしい。
- ☑ 表面的な方針管理では成果が出ないと感じている。部長長が取り組むべきことを具体的に知りたい。
- ☑ 難しい課題・目標を達成するために問題・課題解決能力を高めたいと考えている。

本研修では、以下のことを学びます。

- ① 企業や組織にとって方針管理が必要な理由
- ② 部課長が進める方針管理の基本
- ③ 方針管理に必要なステップと取り組み方

講師

株式会社デジタルコラボレーションズ 代表取締役社長 石井 創久 氏

2006年元トヨタ自動車 車両情報管理室長の職から独立。27年間の生産技術部門の経験を活かして産業界に貢献している。日刊工業新聞社の月刊誌「工場管理」での連載やITによるIEをテーマにした講演など数多く開催。自動車最終組立ライン設計において、将来の組立構想をはじめ、完結工程、サブAssy化等、効率の良い生産ラインの考え方や工程管理システム開発とグローバル展開など、多品種多量生産におけるSQCD最大化に向けて取り組んだ。製品開発プロセス改革にも従事し、実務もITのキャリアを蓄積したエンジニアとして活躍した。経済産業省の第1期始動プロジェクトのシリコンバレー派遣に選抜され、独創的なナレッジシステムのアイデアは特許を50件程度有している。

組織風土を改革する方針管理の進め方(7/2) 参加要項/参加申込書 ※必要事項をご記入のうえ、切らずにこのままFAXをお送り下さい。

参加費 (1名様)	中産連会員 36,300円(消費税込) 中産連会員外 41,800円(消費税込)
申込方法	<ul style="list-style-type: none"> ●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申し込みください。(https://www.chusanren.or.jp) 申し込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ●ファックスでのお申し込みも可能です。下記申込書に必要事項をご記入の上、切り取らずにFAXにてお送りください。受領後、確認のご連絡をいたします。 ●受講票と請求書を開催日の2～3週間前に申込責任者へ郵送します。 ※オンライン受講の場合は、参加者のメールアドレスが必要です。必ず参加者のメールアドレスをご記入ください。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申込みはお断りしております。ご了承ください。
キャンセルについて	<p>お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。</p> <p>開催日の前日(土日・祝日を除く)と当日・・・受講料の100% 営業日の17:30以降のご連絡は、翌営業日の取り扱いとさせていただきます。</p>
申込先	<p>一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 大土井 〒461-8580 名古屋市東区白壁3-12-13 TEL052-931-9826 FAX0120-342-340</p>

会社名 _____ 年 月 日
〒 _____

所在地 _____ TEL _____ FAX _____

参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	<p>今回ご記入いただく個人情報、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。</p> <p>詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にシ点のご記入をお願い致します。 <input type="checkbox"/> セミナーなどの関連情報の案内を希望しない</p>
		百万円	人	
<input type="checkbox"/> 中産連連盟会員(〇印をお付けください)		<input type="checkbox"/> 会員	<input type="checkbox"/> 会員外	